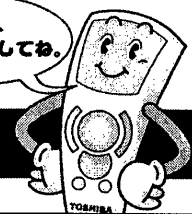


よく読んで、
正しく操作してね。



ON/OFFタイマー付リモコンの使い方

■安全上のご注意

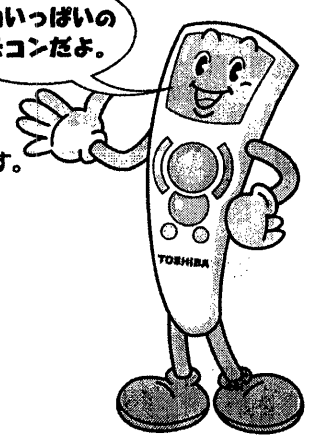
商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

<p>注意</p> <p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が予想される内容を示します。</p>	<p>温度</p>	<p>●このリモコンは非防水です。屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>改造</p>	<p>●リモコンを分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>高温禁止</p>	<p>●温度の高い場所では使用しないでください。暖房器具・ガス器具等の真上、付近等では使用しないでください。火災の原因となります。</p>

■商品の概要 ※弊社指定の照明器具専用です。

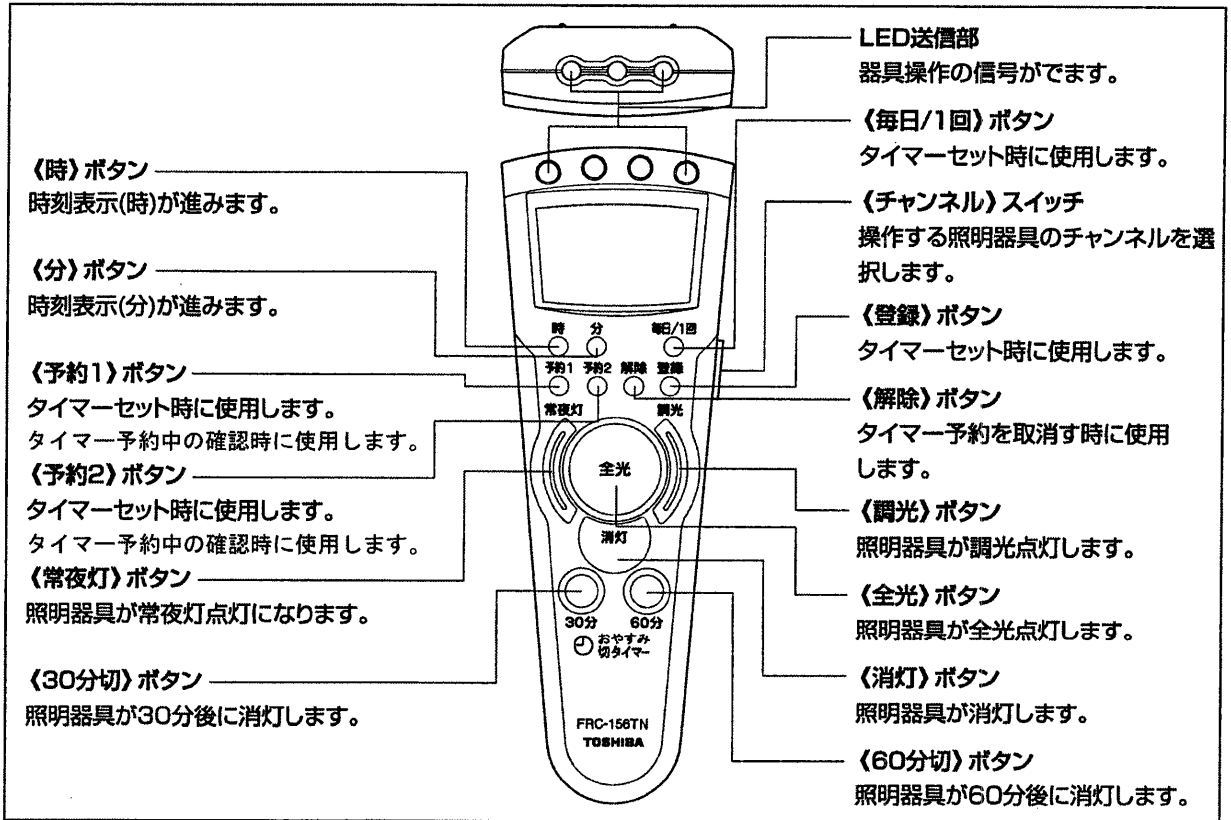
- ◎時計機能付きです。(時計の精度は月差±30秒以内です)
- ◎全光、調光、常夜灯、消灯の切替えがリモコン送信器で行えます。
- ◎ON/OFFタイマー機能付きです。
設定した時間になると、照明器具に信号を送って設定した点灯状態または消灯状態にできます。
- ◎予約は2つまで設定できます。同じ設定を毎日繰り返すことができます。
- ◎おやすみ切タイマー付きです。
設定時間になると消灯します。30分、60分どちらか選べます。

魅力いっぱいのリモコンだよ。

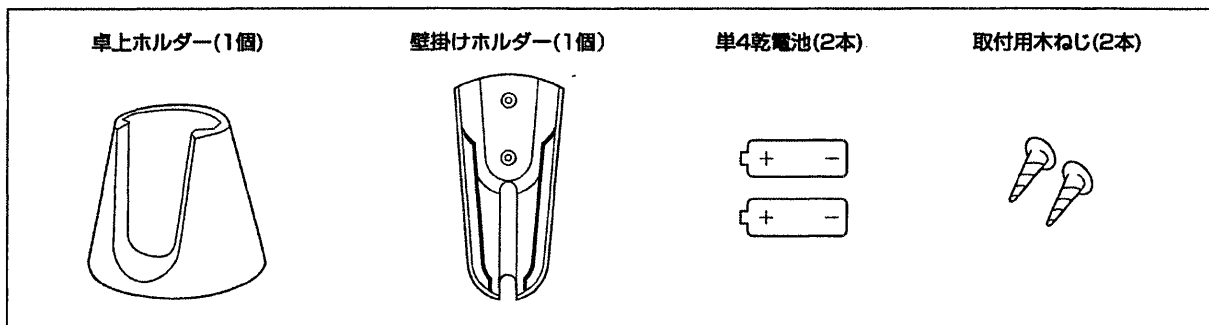


■各部のなまえとはたらき

リモコン送信器 FRC-156TN

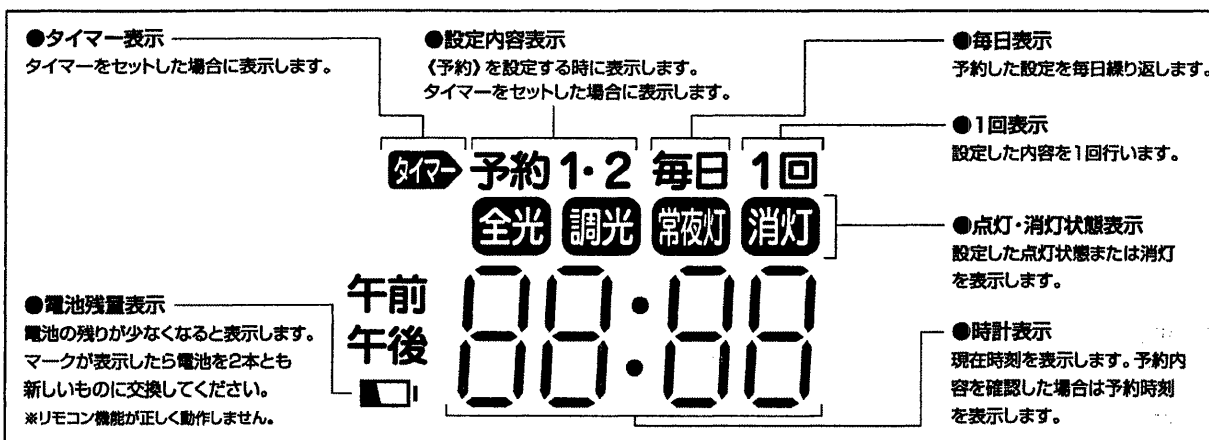


■リモコン送信器付属品



■液晶表示パネルについて

※説明のため、全部を表示しています。実際にはこの表示にはなりません。



■リモコン送信器への乾電池の入れ方

①裏面のカバーを軽く押さえながら ②単4乾電池を表示に合わせて極性+-をまちがえないように入れてカバーを閉めてください。

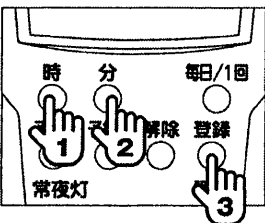
③電池をリモコンのリセットボタン穴に挿入してください。

ご注意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 乾電池の交換の際は、カバー下にあるリセットボタン穴からピンなどを差し込み、必ずリセットボタンを押してください。正常に動作しない場合があります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

・リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回使用の場合約1年間がめやすです。

■時計の合わせ方 注)時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に作動しません。

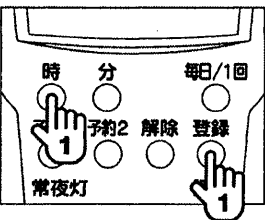
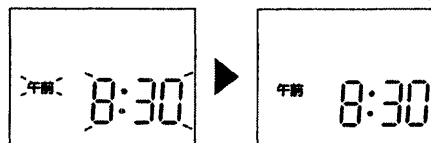


<電池投入時>

※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

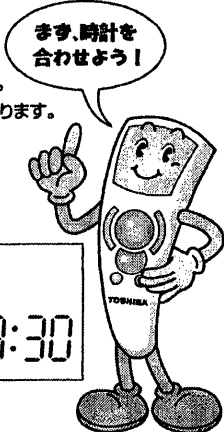
- ①《時》ボタンで時刻を合わせます。
《時》ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。
- ②《分》ボタンで分を合わせます。
《分》ボタンを押すごとに1分単位で進みます。
- ③《登録》ボタンを押して決定します。
※ボタンを押し続けると1秒間隔で時刻を送ります。
※早押しすると早く時刻が送れます。

例)午前8:30に設定する場合
点滅から点灯になり完了。



<時刻を変更するとき>

- ①《時》+《登録》ボタンを同時に押します
(時刻表示が点滅します)。
- ②「電池投入時」の1~3と同じ手順で時刻を登録します。



■照明器具とリモコン送信器のチャンネルの合わせ方

① 照明器具のセードを外します。
例: 1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。

② リモコン送信器のチャンネルを1に合わせます。

※照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

※リモコン送信器のボタンを押して点灯状態の切り替え操作ができることを確認してください。

■リモコンホルダーのご使用方法

・リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。

<壁掛けホルダー>
壁面に取付けてご利用ください。付属の木ネジでリモコンホルダーを確実に固定してください。壁掛けホルダーに入れてタイマーを使用する場合は器具に向けて壁掛けホルダーを取付けてください。(木ネジで留める前に、設置予定の場所に送信器をあわせ、信号が届くか御確認ください) 壁面と照明器具の距離は1m~3mが目安となります。

<卓上ホルダー>
卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご利用ください。

ご 注 意
壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合はホルダーから送信器を外して器具に向けてください。壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

■タイマー予約における使用上のご注意

- 壁スイッチは必ずONにしてください。
- リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。
- 卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。
※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。
- 器具と送信器の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。
- 天井の高さにより受信範囲が異なります。2.4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。
これを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。
- 卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約3mが受信範囲になります。
- 卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)
- 卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。
- 直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
- ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。

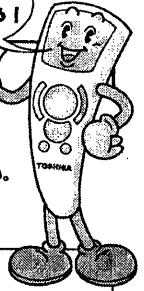
※信号はリモコン送信器の正面より発信されます。

■リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約2Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないときがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。

NO! NO!

あかりを
予約しよう!



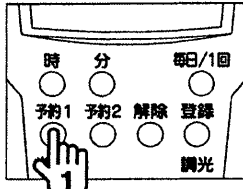
ON/OFFタイマーの設定のしかた

■タイマー予約をする

タイマー機能を使って照明器具を「全光点灯」、「調光点灯」、「常夜灯点灯」、「消灯」させることができます。「設定」はダイレクトに選択できます。

※時計を正しい時刻に設定しておいてください。
(時計の合わせ方参照)

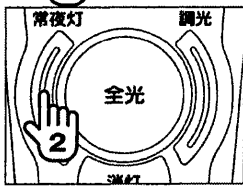
例)「午後11:30に毎日常夜灯点灯する」を「予約1」に登録する場合



①「予約1」ボタンを押します。

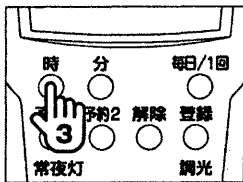
画面が点滅します。

※「予約1」または「予約2」にタイマー登録されている状態では、「予約1」「予約2」ボタンは確認のみです(点滅しません)。「タイマー予約中の内容を変更する」を御参照の上設定ください。



②「常夜灯」ボタンを押します。

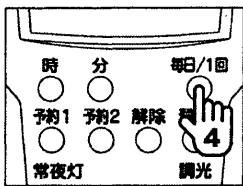
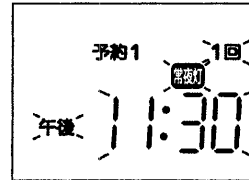
点灯状態は、「全光」、「調光」、「常夜灯」、「消灯」の中から選べます。



③「時」、「分」ボタンで時刻を決定します。

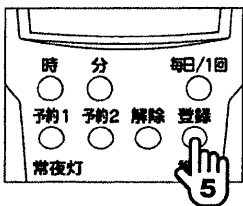
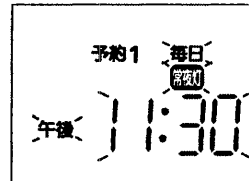
「時」ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
「分」ボタンを押すごとに、10分単位で進みます。

※ボタンを押し続けると1秒間隔で時刻を送ります。
※早押しすると早く時刻が送れます。



④「毎日/1回」ボタンを押します。

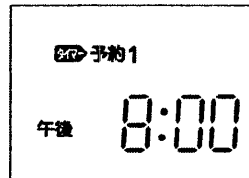
毎日もしくは1回を設定します。
「毎日/1回」ボタンを一度押すと、毎日に設定となります。「毎日/1回」ボタンを押すたびに、「毎日」と「1回」が切替ります。



⑤「登録」ボタンを押します。

液晶画面に「タイマー」、「予約1」が表示され、現在の時刻表示に戻り、登録完了です。

※②③④の操作はどの順番でも設定できます。



工場出荷時のメモリ状態

	点灯状態	設定時間	毎日/1回	タイマー
予約1	全光	午後6:00	1回	OFF
予約2	消灯	午後9:00	1回	OFF

工場出荷時のメモリを使用する場合は「登録」ボタンを押します。
※電池交換すると工場出荷時のメモリ状態に戻ります。

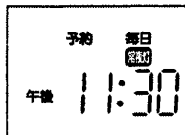
■タイマー予約の内容を確認する

タイマー予約中の内容を確認できます。

例)「予約1」の内容を確認する。

①「予約1」ボタンを1回押します。

現在のメモリ設定内容が表示されます。「予約1」または「登録」ボタンを押すと、時刻表示に戻ります。また、5秒間何も押さないと時刻表示に戻ります。



■タイマー予約を解除する

タイマー予約中の内容を解除します。

例)タイマー予約中の「予約1」の内容を解除するとき。

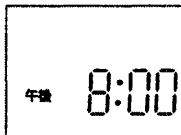
①「予約1」ボタンを押します。

現在のメモリ内容が表示されます。

②「解除」ボタンを押します。

「タイマー」と「予約」の表示が消え時刻表示に戻ります。

※「毎日/1回」ボタンで1回を選択した場合は、偶数次送信後に自動的に解除されます。



■タイマー予約中の設定内容を変更する

例)「予約1」の設定内容を変更するとき。

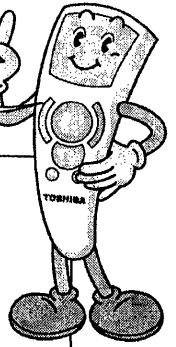
①「予約1」ボタンを押します。現在のメモリ設定内容が表示されます。

②「解除」ボタンを押します。

③「ON/OFFタイマー予約をする」の1~5の操作をします。

※一度解除しないと予約の設定内容を変更できません。

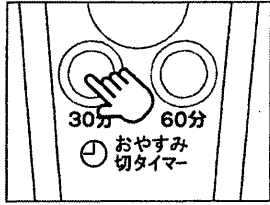
便利なもう
1つのタイマー
機能だよ!!



■おやすみ切タイマーの使い方

おやすみ切タイマーは「30分」または「60分」後に自動消灯する便利な機能です。

※あらかじめリモコン送信器を置く場所で、点灯状態の切り替え操作ができることを確認してください。



《30分》ボタンを押します。

・ボタンを押すとピピッと照明器具が2回鳴り、約30分後に消灯します。

《60分》ボタンを押します。

・ボタンを押すとピピピッと照明器具が3回鳴り、約60分後に消灯します。

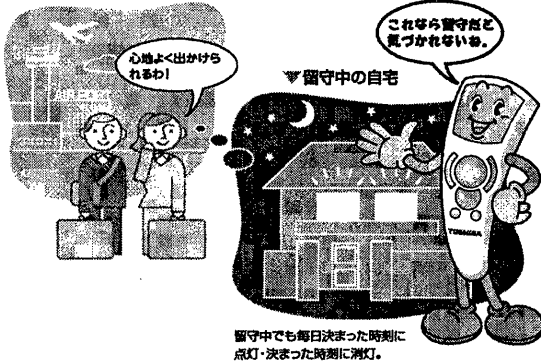
※《30分》または《60分》の作動中にON/OFFタイマーの予約時間になると予約が優先され《30分》・《60分》は解除されます。

※切りタイマー作動中に《30分》または《60分》のボタンを押すとカウントがリセットされ再度タイマーがセットされます。

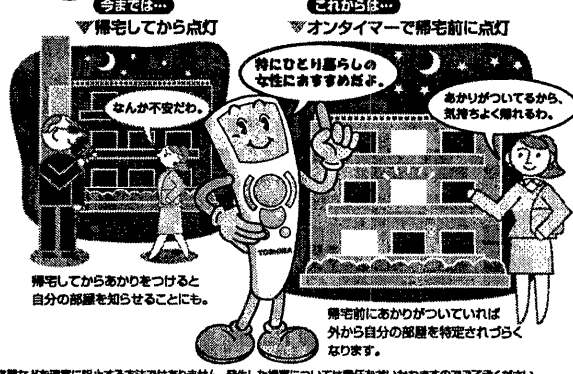
※「おやすみ切りタイマー」設定後に照明切りかえボタンが押されると解除されます。

ON/OFFタイマーだからできる、こんな使い方

1 旅行などで数日留守にする時に。 ON/OFFタイマー設定

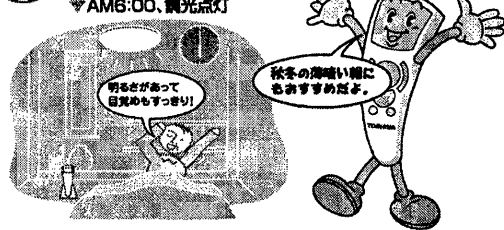


2 第三者に帰宅を知られたくない時に。 ONタイマー設定

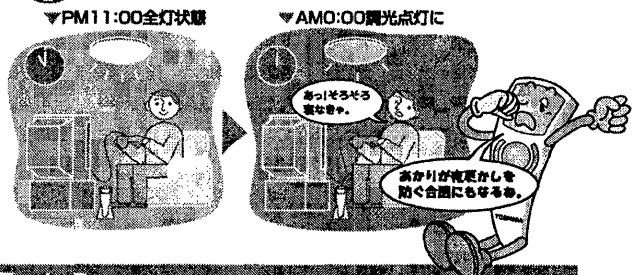


*盗難などを確実に防止する方法ではありません。発生した損害については責任をおいかねますのでご了承ください。

3 毎日の朝のお目覚めに合わせて。 ONタイマー設定



4 ついつい夜更かしてしまう時に。 タイマー設定



故障かな?と思ったら。

現象	考えられる原因	処置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光灯ランプが切れている。	蛍光灯ランプを交換してください。
液晶表示パネルが表示されない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池のカバーを開けて、先の細いものでリセットボタンを押してください。(右図参照)
予約時刻になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	時刻が合っていない。	時刻を合わせてください。
	照明器具に信号が届いていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。

